

教職支援室便り (2月号)

令和8年 2月13日 (金)

文責：教職支援室 曾我文敏

☎0985-20-4808

「教職特別講座の思い出」卒業生からの寄稿

10月号から、「教職特別講座の思い出」をテーマに、卒業生からの寄稿文を掲載しています。卒業生の皆さんが今、どのように「教職特別講座」を受け止めているのかなど、率直な気持ちや考えを知ることができればと思っています。

今回は、宮崎県立宮崎南高等学校の竹之内太一さんの寄稿文です。お忙しい中、本当にありがとうございました。

令和7年3月卒業

宮崎県立宮崎南高等学校 竹之内太一さん

「よし、この講座を受講して絶対に宮崎県の英語教師になるぞ!」と多くの疑問や不安を持ちながらも、気合いだけは入れてこの講座に友人と申し込んだあの日のことが、つい昨日のように感じます。私は教職特別講座を大学3年生、その後1年間の留学期間を終え、帰国してからの4年生の期間に受講しました。

この講座では、教師を目指すメンバーと曾我先生と一緒に、教員採用試験で問われることについての学びを深めることはもちろんですが、教師になるための強い覚悟をすることができた期間だと思います。分厚い教育小六法や生徒指導提要、そして大量のプリントを読み、本質を理解することは非常に体力的にきつく、本当にこの内容を私は覚えることができるのかと不安の毎日でした。大学4年生時の教員採用1次試験当日、「よし、絶対大丈夫」と思いながら受験しました。手応えは、ある程度できたかなというような感じでした。ですが、結果は不合格でした。その時の私の気持ちとしては、少し落ち込みましたが、「来年は絶対合格する!」と気持ちをすぐに切り替えていました。1次試験に合格していた友人たちは、2次試験に向けての特別講座がスタートしていました。1次試験で不合格だった私ですが、来年のために2次試験の演習を一緒にさせていただこうと思い、曾我先生に特別講座への参加をお願いしました。曾我先生は快く受け入れてくださり、個人面接や集団討論、模擬授業の指導を手厚くしていただきました。本当にありがたいことでした。

試験も終わり、大学卒業のとき、曾我先生から「来年は絶対合格できるから大丈夫!」と応援の言葉をいただき、私もその言葉を信じ頑張っていこうと思いながら、今年の3月に卒業。その後、宮崎県内の高校で講師として働き始め、今年の6月の教員採用1次試験に向けての勉強をしていました。大学の時は、仕事等が無い中で、教員採用試験の勉強に全力で取り組めていましたが、教員人生1年目で分からないことが多い中、多忙な業務の中で、教員採用試験の勉強をすることは非常に大変な生活でした。隙間時間や休みの日は、この特別講座で学んだことを思い出しながら復習をし、勉強をしていました。そして、1次試験を無事に終え、結果は合格。その後、2次試験に向けても、特別講座で学んだことを思い出しながら試験に向けて準備しました。本番も、自分をしっかり出せるようにと意識し頑張りました。そして、合否発表の日、緊張しながら結果を見ると、合格していました。とっても嬉しかったです。大学の時に1次試験で不合格だったのですが、2次試験に向けての特別講座に参加していて、本当に良かったなと改めて思いました。(次頁に続く)

教職特別講座を通して、試験内容のことはもちろんですが、教師になる上で大切な知識や意識、そして覚悟を身に着けることができたことが、教員採用試験合格に結びついたんだと心から思います。それを支えてくださった曾我先生には、とても感謝しております。本当にありがとうございました。そして、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

3月までの「教職特別講座」の計画

日曜	演習内容等
2月16日(月)	教育公務員特例法 討論「学び続ける力(姿勢)とは」
2月19日(木)	受験自治体等に関するヒアリング
2月26日(木)	自己PR書等の作成演習(第一段階)
3月3日(火)	いじめ防止対策推進法等
3月4日(水)	討論「いじめ問題への対応」
3月10日(火)	不登校問題
3月16日(月)	討論「不登校問題への対応」
3月18日(水)	東京アカデミー模擬試験

道徳の教科化に思う！(シリーズ105)

平成29年の6月号から、「道徳の教科化に思う」をテーマに、道徳授業の本質的な在り方等について連載しています。

今回は、7月号からスタートしたテーマ「生きる力をはぐくむ道徳授業の創造～発問や教材(資料)選択を児童にゆだねる道徳の時間の指導の在り方～」の8として、「実践編その3：道徳(道徳科)学習指導案(第3時学習指導過程、ワークシートの内容)」について掲載します。

<第3時学習指導過程：60分>

- 1 主題名「命を守るためには」
- 2 本時のねらい
 - 自分の考えを積極的に発表し、他の考えと比較することができる。
 - 命を救うためには、そのときの状況を判断して実行することが大切であることが分かり、進んで実践しようとする態度を育てることができる。
- 3 本時の展開

段階	児童の学習活動及び内容	教師の支援	伸ばしたい能力	支援への手立て
ステップ1	1 本時学習について話し合う。 自分の考えを発表したり、友だちの考えを聞いたりして、命の大切さについて深く考えてみよう。	・前時を受けて本時学習が計画されていることを確認する。 ・自分の考えを積極的に発表するよう励ます。		

<p>ステップ 2</p>	<p>2 同教材グループで自分たちの考えを出し合う。</p> <p>○主人公の行為で感動したところ</p> <p>○そのときの主人公の気持ち</p> <p>○自分の考え方の変化</p> <p>○主人公の迷いに対する自分の考え</p> <p>○他教材への質問</p>	<p>・ワークシートをもとに、同教材グループで「感動したところと主人公の気持ち自分の考え方の変化、主人公の迷いに対する自分の考え」について、話し合わせる。</p> <p>・特に主人公の迷いに対する自分の考えについて、互いに意見を出し合わせる。</p> <p>・形式にこだわらずフリートークンで行う。</p> <p>・自分の考えを広めたり深めたりする場となるよう、適時助言する。</p> <p>・他教材への質問も話し合わせておき、3へのつなぎとする。</p>	<p>☆他の考えと自分の考えを、比べることができる。</p> <p>☆主人公の行為に対して自分なりの考えをもつことができる。</p> <p>☆疑問に思ったことなどを質問することができる。</p> <p>☆質問に対して自分なりの考えをまとめ、発表することができる。</p> <p>☆自分の考えを言葉で表現することができる。</p>	<p>ワークシート 1 前時に活用したシート</p> <p>ワークシート 2 「自分の考え方の変化、主人公の迷いに対する自分の考え等について」</p>
	<p>3 教材から考えたことを全体の場で発表し合う。</p> <p>○教材を選んだわけ</p> <p>○主人公の行為に学んだこと</p> <p>○自分の考え方の変化</p> <p>○みんなで深め合いたいこと</p>	<p>・各グループごとに、教材を選んだわけ、主人公から学んだこと、自分の考え方の変化について発表させるが、全員で深めたいことは教師が助言する。それを中心に話し合いを進め、互いに質問したり答えたりするなかで、児童が考えを出し合い、深め合い広め合えるよう助言する。</p> <p>・命の尊さ、それを踏まえた上での主人公の判断力、決断力、実行があったことをしっかりと捉えさせる。</p>	<p>☆他の教材に対して質問することができる。</p> <p>☆質問に対して自分なりの考えをまとめ、発表することができる。</p> <p>☆自分の考えを言葉で表現することができる。</p> <p>☆他の考えと自分の考えを、比べることができる。</p>	
<p>ステップ 3</p>	<p>4 学習を通しての感想をまとめる。</p> <p>○これまでの生き方</p> <p>○今の生き方</p> <p>○これからの生き方</p>	<p>・学習全体を通して、自己のこれまでの生き方、今の生き方を振り返り今後の生き方について考えさせる。</p>	<p>☆学習内容や学習方法についての感想などを作文することができる。</p>	<p>ワークシート 3 「学習を通しての感想について」</p>

ス テ ッ プ 4	5 これまでの学習のまとめをする。 ○自力学習への賞賛	・ワークシートに記入した後、学習の流れを振り返らせ、自力で学習したことに対する励まし、賞賛の言葉を贈る。		
-----------------------	--------------------------------	--	--	--

<ワークシートの内容>

1 第1時「教材選択を中心とした時間」

- ① あなたは、命の大切さについて考えたことがありますか。
- ② どんなときに考えましたか。
- ③ これから学習するために、どの教材を選びましたか。
- ④ なぜ、その教材を選んだのですか。

2 第2時「教材による価値追求を個人で深める時間」

【教材・手のひらのかぎ】

- ① 少年が血まみれになっているのを見たとき、どんな気持ちだったでしょう。
- ② 医者がないことがわかったとき、どんな気持ちだったでしょう。
- ③ タマキさんから言われたとき、どんなことを考えたでしょう。
- ④ 少年が助かったことを聞いたとき、どんな気持ちだったでしょう。
- ⑤ 深めてもらいたいこと
○ バスの運転手が、仕事をはなれてよいのでしょうか。

【教材・稲むらの火】

- ① 津波が来るのに気付いたとき、どんな気持ちだったでしょう。
- ② 稲むらに火を付けるとき、どんなことを考えたでしょう。そのときの気持ちは、どうだったでしょう。
- ③ 登ってくる村人を数えるときの気持ちは、どうだったでしょう。
- ④ 津波が去った後、五兵衛はどんな気持ちだったでしょう。村人の気持ちは・・・。
- ⑤ 深めてもらいたいこと
○ 稲むらに火を付けることに、迷いはあったのでしょうか。

【教材・猛火の中で】

- ① 工場に残って消火していたとき、どんな気持ちだったでしょう。
- ② 家族のところへいなくてよかったのでしょうか。
- ③ 「助けて、助けて」と叫ぶ声が聞こえたとき、船べりにつかまりどんなことを考えたでしょう。そのときの気持ちは・・・。
- ④ 夜明けに船の中に横たわっている人たちを見たとき、どんな気持ちだったでしょう。
- ⑤ 深めてもらいたいこと
○ 自分の命も危ないかもしれないのに、助けに行くことはよかったのでしょうか。

【教材・東京大空襲の中で】

- ① みよさんは、どんな気持ちで次のことを言ったのでしょうか。
「この病院に残して下さってもいいんです。タンカをすてて逃げてください。」
- ② 医師や看護師さんたちは、猛火の中で重いタンカを運んでいるとき、どんなことを考えたでしょう。
- ③ 腕を組んでならば、嚴重な囲いを作っているとき、医師や看護師さんたちはどんな気持ちだったでしょう。
- ④ 助かったことがわかったとき、みよさんはどんな気持ちだったでしょう。

⑤ 深めてもらいたいこと

重いタンカを運んでいるとき、苦しさに負けそうにならなかったのでしょうか。自分の命を大切にしないでよかったのでしょうか。

3 第3時「同教材グループで考えを深める時間」

① この教材を選んだ理由は何ですか。

② この教材で学んだことは何ですか。

③ みんなで深め合いたいことは、どんなことですか。

④ 他の教材を選んだ人に、どんなことを質問したいですか。